

長崎精道小学校・中学校 令和6年度 自己評価表

今年度の教育活動についての実態、及び児童生徒・保護者アンケート結果をもとに、教職員間で協議し、自己評価を行いました。

【全体評価：数値評価】

全 体 評 価		3.5
○ 学習指導：特徴ある学習指導の実践	数値評価表：学習関係 児童生徒保護者平均	3.5
○ Open Mind Open Heart Project による校舎リニューアル	数値評価表：関係項目平均	3.6
○ 学校生活への満足度	数値評価表：学校生活関係 児童生徒保護者平均	3.5

※数値は最高を4とした4段階評価

【各種評価：特記事項】

1. Open mind Open heart Project の施設部門においては、関係者皆様方のご協力により、予定していた中学校校舎内のホールと廊下のリニューアル工事が完了しました。新しい照明で校舎内がずいぶん明るくなり、“ポスミス”サインが入ったモダンな壁など、新鮮な空間になりました。
2. 国際交流活動において、今年度はフィリピンの姉妹校ウッドローズ校から学生8名がホームステイし、学内外での有意義な国際交流週間を持つことができました。ENG プログラムでも、ネイティブとの対面での活動が再開できるなどの改善の成果、前年度より評価は上向きでした。
3. 基礎学力定着プログラムや環境整備等、概ねよい評価を得ています。他にも学校生活や細かな対応に関する肯定的なご感想をいただきました。一方、児童生徒への対応や配慮の不足、学習効果を上げるべくツールや内容の工夫等のご意見をいただきました。今年度、研究実践してきた、スリンプルプログラム(コミュニケーション育成活動)や、MIT カリキュラム(ICT 学習)を活用し、学習効果を高めていきたいと思います。また、日常の欠席連絡の簡素化について検討を進めていきます。

次年度も、児童生徒が学習意欲を高め、豊かな交友関係を築きながら成長していけるよう、指導の工夫や研究、明るい校風の醸成に努めていきたいと思います。

以上